


事業概要 【食品表示ウォッチャーシステム リファインプロジェクト】

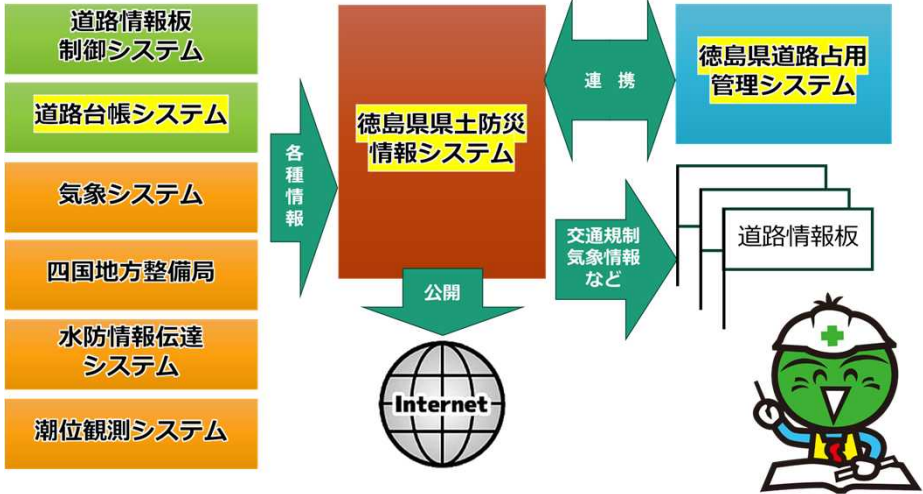
自治体名	徳島県	人口	684,145人	事業費	3,800千円
事業概要	<p>一般消費者目線による食品表示監視活動において運用している「食品表示ウォッチャーシステム」について、消費者からの情報を、簡便かつ迅速に共有できる機能等を実装することにより、監視体制を強化し、県民が安心して食生活を営むことができる環境を整備するとともに、活動への参画・継続を推進することで、県民意識の醸成を図り、ワンランク上の食の安全安心を確保する。</p>				
具体サービス	<p>■ 食品表示ウォッチャーシステム 「食品表示ウォッチャー」や「食品表示適正化推進員」といった一般消費者が、食品表示のモニタリング調査結果等を、「食品表示Gメン」にオンラインで報告できるシステム。</p> <p>【新たに実装するサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査結果を簡便かつ即時に報告するための、「調査用チェックリスト」 法改正や調査テーマ等に応じて調査事項を設定できる「管理者機能」 		<p>食品表示をモニタリング</p> <p>Supermarket</p> <p>調査結果 住民からの情報</p> <p>ウォッチャー・推進員 (一般消費者)</p> <p>Gメン (県職員)</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①ウォッチャー等による食品表示調査件数 ②ウォッチャーシステム利用率 ③</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①食品表示適正化率 ②食品表示への関心度 ③ウォッチャーシステム利用満足度</p>		

事業概要 【文書館利用者向け検索閲覧システム構築事業】

自治体名	徳島県	人口	684,145人	事業費	5,654千円
事業概要	<p>令和6年度に構築する文書館システムを基盤とし、他施設との横断検索への参加、スマートフォンやタブレット端末等マルチデバイスへの対応、現在は紙の書類に手書きしている閲覧・複写等利用申請のデジタル化など、オンラインの強みを生かした利用環境を整えることで、利用者の利便性向上を図るとともに、遠隔地からの利用や異なる分野からの利用を促進し、誰もがどこからでも利用できる施設の構築を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【資料検索と手続の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目録と資料画像、電子公文書との連携表示 ・他施設との横断検索 <p>資料目録と資料画像、電子公文書をひも付けし、目録の検索結果から資料の画像やデジタルデータなどを確認することができるようにする。 また、他施設との横断検索ができるようにする。</p> <p>【利用手続のオンライン化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧や複写に必要な手続がオンライン上で行えるようにする。 <p>【マルチデバイス対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン、タブレット端末等での利用に対応する。 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デジタルコンテンツの閲覧件数 ②資料検索の件数 ③閲覧や複写のオンライン申請件数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用者の満足度 ②オンライン申請利用者の満足度 		

事業概要 【こども・若者アイデアポータル構築事業】

自治体名	徳島県	人口	684,145人	事業費	4,000千円
事業概要	<p>こども基本法において、都道府県に対し、こども施策の策定・実施・評価に当たり、こどもの意見を反映することが義務付けられた。「県の施策についての分かりやすい情報発信」、「意見投稿フォーム」、「相談窓口を検索できるコンテンツ」等を備えた、こども向けポータルサイトを構築し、こどもが安全・安心かつ気軽に意見を表明できる環境を実現するとともに、こどもの意見を反映した実効性の高い施策の実施につなげる。</p>				
具体サービス	<p>【こどもからの意見募集フォーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が実施するこども施策について、当事者であるこどもから意見を聴取するため、アンケート及び意見投稿フォームを設ける。募集した意見を施策実施にあたって反映をすることにより、こどもたちのニーズを的確に踏まえた事業実施を行う。 <p>【県の施策についての情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の施策について、こどもの目線に立った情報発信を行う。情報については、こどもでもわかりやすい平易な言葉を用い、写真やイラストを多く用いるなど、工夫するとともに、県が制作しているこども向けのコンテンツ（パンフレット・動画等）をまとめて掲載する。 <p>【相談窓口の検索機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども・若者が居住地や相談内容、相談方法（対面・電話・LINEなど）から、適切な相談窓口をみつけることができるよう検索機能を設ける。 		<p>The diagram illustrates a cyclical process. At the top, '徳島県' (Tokushima Prefecture) is shown with an official icon. At the bottom, 'こども・若者' (Children and Youth) are shown with a question mark icon. In the center is the 'ポータルサイト' (Portal Site) represented by a laptop. Three steps are indicated by arrows: ① '情報発信' (Information dissemination) from the prefecture to the site; ② '意見表明提案' (Expression of opinions and proposals) from children/youth to the site; ③ 'ニーズに応じた取組実施' (Implementation of measures responding to needs) from the site back to the prefecture. Callouts include '意見投稿' (Opinion submission) and '相談窓口' (Consultation window) near the site, and 'こども施策' (Children's policy) near the prefecture.</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ポータルサイトのアクセス数 ② ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① こどもの意見表明の場への参加者数 ② ポータルサイトを利用した人の満足度 ③ 		

自治体名	徳島県	人口	684,145人	事業費	41,500千円
事業概要	<p>本県では道路管理分野のデジタル化を全国に先んじて実施してきたが、関連する届出等において書面手続きが新たな課題となっていることから、オンライン手続きの更なる拡大による利便性向上と迅速化を図る。また、道路工事における水道管等の損傷事案の発生を機に、道路施設情報のオープンデータ化を進め、発災時においても情報を継続的に提供するための通信システム基盤の強化に取り組むことで、地域住民の安全安心な生活を確保する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【道路施設情報閲覧機能】 (既存システム：県土防災情報管理システム)</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理している道路施設情報をGISデータを活用したオープンデータとして地図上に表示 外部の防災情報との通信システム基盤の強化 <p>【道路占用手続き効率化】 (既存システム：道路占用管理システム)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路占用許可に付随する工事着手・工事完了届の提出のオンライン化 関係機関との協議のオンライン化 <p>【デジタル道路台帳の整備促進】 (既存システム：道路台帳管理システム)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路施設現況調査と道路施設メンテナンス調査の連携作業のシステム化 		 <p>The diagram illustrates the system architecture. On the left, a vertical stack of boxes represents data sources: '道路情報板制御システム' (Road Information Board Control System), '道路台帳システム' (Road Register System), '気象システム' (Weather System), '四国地方整備局' (Shikoku Regional Maintenance Bureau), '水防情報伝達システム' (Water Defense Information Transmission System), and '潮位観測システム' (Tide Observation System). A green arrow labeled '各種情報' (Various Information) points from this stack to a central red box labeled '徳島県県土防災情報システム' (Tokushima Prefecture Disaster Prevention Information System). Below this central box is a globe icon labeled 'Internet' with a green arrow labeled '公開' (Public) pointing down to it. To the right, a blue box labeled '徳島県道路占用管理システム' (Tokushima Prefecture Road Occupation Management System) is connected to the central box by a double-headed green arrow labeled '連携' (Collaboration). Below the central box, a green arrow labeled '交通規制 気象情報 など' (Traffic Regulation, Weather Information, etc.) points to a stack of white boxes labeled '道路情報板' (Road Information Board). At the bottom right, there is a cartoon character of a green figure wearing a white cap with a cross and holding a clipboard.</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①完全電子申請数（電子許可書の発行数） ②道路占用許可申請の電子申請率 ③県土防災情報管理システムのアクセスユーザー数 ④工事着手・完了届の提出のオンライン率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①道路占用管理システム利用者の満足度 ②道路占用申請から許可書発行までの平均期間 ③県土防災情報管理システム利用者の満足度 ④工事着手・完了届のオンライン申請における利用者の満足度 		

事業概要 【特別支援学校スクールバス運行支援システムの導入事業】

自治体名	徳島県	人口	684,145人	事業費	2,246千円
事業概要	<p>・本県は、公共交通機関が十分に発達していない上に、地域住民の移動手段が自家用車が主流であるため、朝の登校時には主要幹線道路で渋滞が発生し、特別支援学校スクールバスが時刻表どおり運行できない状況が起こりやすい。そこで、スクールバスの位置情報を常にリアルタイムで把握したり、都合の良いタイミングで欠席連絡を送受信したりできる「スクールバス運行システム」を導入しスクールバスの利便性向上を図ることで、地域で生活する障がいのある児童生徒、保護者の負担軽減を図り安心安全な地域生活を保障する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>(例)アプリ【RAKUME For School】</p> <p>【サービス内容】</p> <p>・<u>スクールバス位置情報サービス</u> 特別支援学校スクールバスで通学している障がいのある子どもを持つ保護者が、個人のスマートフォンにアプリをダウンロードすることで、スクールバスの位置情報をリアルタイムで把握することができるため、障がいのある子どもが見通しを持ちバスの到着を安心して待つことができる。</p> <p>・<u>欠席遅刻連絡システム</u> 朝の忙しい時間帯に電話連絡するのではなく、保護者の都合の良いタイミングで欠席連絡を送信することが可能。</p>		<p>学校用一斉メール配信・情報収集システム 【RAKUME For School】</p> <p>欠席遅刻連絡システム</p> <p>スクールバス位置情報サービス</p> <p>保護者が忙しい当日の朝の電話連絡ではなく、前日の夜でも欠席連絡が可能</p> <p>安心してバスを待つことができる</p> <p>到着時刻の見通しがつく！</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①アプリ登録者数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①アプリ登録者の満足度</p>		

事業概要 【医療MaaS実装事業】

自治体名	徳島県	人口	684,145人	事業費	29,429千円
事業概要	<p>オンライン診療機能を装備した医療MaaS車両を導入し、高齢者等の通院困難者に対し、居宅での「訪問診療」や地域住民に身近な公民館等における「巡回診療」を実施する。地元自治体や町立病院と連携の上、医療MaaS車両を共同利用し、車両の利用率を高めるとともに、地域住民の通院負担の軽減、医療アクセスの向上、また、医師の移動負担の削減等を図ることで、地域住民に豊かで快適な生活を提供できる仕組みを構築する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【医療MaaSを活用したオンライン診療サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン診療機能を装備した医療MaaS車両に医師や看護師が同乗し、居宅での訪問診療や公民館等での巡回診療を実施 地域の調剤薬局、薬剤師会との連携によるオンライン服薬指導の実施 発災時には、DMAT車両として活用し、避難所等での巡回診療を実施 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①オンライン診療受診患者数 ②オンライン服薬指導の利用件数 ③医療MaaS車両の運行日数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①オンライン診療による患者の通院時間の削減時間数 ②利用者アンケートによる患者満足度 ③オンライン診療のリピート数 		